（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	はぐみ

公表日 令和8年2月28日

利用児童数　２２名　　回収数　１８名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	１７名	１名			とても広くていいと思います。いくつも部屋があるのでこどもの気持ちが乱れた時に配慮してもらえ助かっています。	こどもの活動スペースが十分に確保されているかどうかは現在及び次年度の利用児の状況や人数も踏まえ常に検証していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	１３名	２名		３名	女性職員さんもたくさんいて（5人）、女児の着替え等は同性介助で対応してくれているので安心している。 こどもが帰って来てから、職員さんたちがみんなを支援するのが大変そうだったと話していたので。	こどもの活動の状況や人数や支援の必要度をよく見極めながら適正な人員配置になるように常に気を配っていきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	１６名	１名		１名	スペースが十分にあり、遊ぶ部屋、本を読む部屋等に分かりやすく掲示し機能的にされている。	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているかチェックを続けます。また、予算等も精査した上で事業所の設備等を障害特性に応じて、バリアフリー化できないか、情報伝達等への配慮ができないか検討します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	１８名				広々としていて学習する部屋や思いっきり運動する部屋等もあり子ども達にとって快適な空間となっている。	生活空間が清潔で、心地よく過ごせる環境になっているかチェックを続けます。また、こども達の活動に合わせた空間になるようなできる工夫と努力を続けます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	１８名				児童精神科の通院同行もしてくれて、保護者の面談も定期的に取り組んでくれて必要な事を職員で共有してくれている。	利用されるこどもさんおひとりおひとりの特性に応じた総合的な支援、専門的な支援を提供できるように支援力がアップするための研修を受講したり、学習等の自己研鑽に努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	１８名				集団活動と個別活動を上手く組み合わせ、本人に無理なく支援内容と合っていると思います。 こどもが帰って来て、プログラムの内容をすごく喜んでいるので感謝しています。	支援プログラムの実施予定表と実際の提供内容に相違がないように、支援内容の実施の振り返り会議においてチェックを継続します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	１８名				こどもが喜んで通所していることが答えだと思います。親として本人を伸ばして欲しい部分を計画に反映して作成してくれています。	こどものことを十分理解するために、標準化されたアセスメントツールを使用し、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での放課後等デイサービス計画の作成を続けていきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	１８名				支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が設定されている。	放課後等デイサービス計画の作成においては、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の5領域を網羅した「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容を設定するようにします。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	１８名				放課後等デイサービス計画にきちんと沿って支援が行われていると思います。	放課後等デイサービス計画に沿った支援が実際に行われていくように、日々の職員会議、支援会議でチェックを行います。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	１７名			1名	日々の活動をいつもマンネリ化しないように工夫をして様々な種類と分野の活動プログラムを考えて準備してくれている。	こどもさんたちや保護者へのアンケート結果やモニタリングの結果も踏まえながら、新しい取り組みも定期的に実施し、固定化していかないように創意工夫を心がけます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	８名	３名		7名	放課後学童クラブや児童館との交流や活動はお知らせを聞いていなが、地域の民生委員・児童委員さん、地域住民との交流は聞いている。	継続課題に挙げていながら、実施にむけては協力先の都合もあり現状は放課後児童クラブや児童館との交流ができていません。反省をし子育て交流施設での地域の他のこどもと活動する機会等にハードルを下げながらまずはお互いの見学交流から取り組みます。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	１８名				丁寧な説明を受けています。納得しています。	アンケートの結果に慢心することなく、事業所の当然の責務として、事業所を利用していただく際には運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明に心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	１８名				面談において、「放課後等デーサービス計画」を示しながら、支援内容の説明をしてくれている。	今後も継続して面談の際に「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明を丁寧に行っていきたいと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	１１名	３名		３名	事業所のおたよりでペアレント・トレーニングの記事や家族等も参加できる自閉症協会や発達支援センターの研修会や相談会の案内をしてくれている。	今後も継続して事業所通信の発行面において家族に対して家族支援プログラムの情報を提供する。合わせて家族等も参加できる自閉症協会や児童発達障害者支援センター主催の研修会や相談会の機会の情報提供に取り組む。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	１８名				日常の様子を家族と事業所が伝え合う、事業所の連絡ノートや必要なタイミングでの電話連絡・相談により、共通理解ができている。	今後も事業所からの連絡ノート、電話、メール、必要に応じての面談を丁寧に行いながら、日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解を図っていきたいと思います
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	１５名	２名		１名	定期的に面談を実施し子育てに関する助言等の支援を受けています。	アンケートの結果も踏まえた対応として、必ず定期的にまた必要なタイミングを逃さないように面談を行い子育てに関する助言等の支援に取り組んでいきたいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	１８名				いつもこどもの状態や不安に寄り添い、共感的に具体的なアドバイスを通じて支援してくれている。	保護者の方が事業所の職員みんなから共感的に支援をされていると感じて頂けるように、きちんと保護者の感情や悩み苦しみに寄り添い、支援の姿勢が安心できるものとなるように内部研修等に取り組み標準化していきたい。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	１３名	３名		２名	積極的に地域のイベントでこどもの作品を展示して自分達が行ける機会を作ってくれたり、夏休みに保護者・こども・きょうだい合同参加のバーベキュー大会をして、家族の交流や相談の機会をもってくれている。 保護者やきょうだいを連れての交流イベントを開催してくれているのは知っているが、参加はできていない。	今の時代や保護者の意識の変化や就労状況や生活の実態に合わせた、父母の会の活動の支援や、保護者会の開催等による保護者同士の交流の機会を設けたり、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、もっときょうだいも保護者も参加しやすいイベントの開催を目指して形を変えていくことを計画しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	１８名				きちんと営業時間内で相談や申し入れについて、対応の体制が整備されていて、周知・説明もきちんとされ、相談や申し入れをした際にはきちんと電話・面談等の対応も迅速かつ適切にしてくれている。 こどもだけでなく親のメンタルについてもケアしていただいています。	今後もこどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備していくとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明をきちんとおこない、相談や申し入れを受けた際に迅速かつ丁寧に適切な対応をしていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	１８名				こどもの気持ちを尊重し、障がいの状態に合わせて、意思の疎通や情報伝達のために理解しやすいような配慮をしてくれていると思います。	今後も保護者には日頃から少しでも気になる事があれば、連絡ノートやメールや電話相談によりお伝えしたり、こどもさんにはより丁寧に意思の確認や情報伝達のための配慮を視覚的な支援（写真やイラスト等）によりおこなう。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	１６名	１名		１名	毎月1回、事業所の通信である「めばえ」という名前のニュースを発行してくれて活動内容やこどもの様子の写真、行事予定等の情報をこどもや保護者に発信してくれている。 「めばえ」が届くのを毎月、親もこども も楽しみにしています。	事業所開始以来、月1回のペースで定期的に会報を発行し、支援プログラムの月予定のトピックスや行事予定、ペアレントトレーニングの情報や子育て支援の情報を発信してきました。 今後もホームページを活用し業務に関する自己評価の結果をこどもさんや保護者に対して発信していきます。また通信を利用し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	１８名				個人情報の取り扱いについての同意書を事業所と交わして、その内容にそって取り扱いに留意してくれている。	今後も個人情報の取り扱いには慎重の上にも慎重を重ね、細心の注意を払い取り扱った上で、全職員がお互いをチェックし法令遵守をきちんと実践する事業所運営に努めます。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	１７名	１名			各種マニュアルを等を策定してくれ、保護者に周知説明されている。また事故、防犯、感染症等の発生を想定した訓練が実施されている。	今後の事業所運営においても各種マニュアルを随時更新しながら策定し、保護者に周知・説明していきます。また、発生を想定した訓練を実施していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	１７名	１名			事業所では地震や地震等にともない発生する火事、または地震の発生等にともなう大津波、大雨にともなう水害等の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施してくれている。	今後の事業所運営においても非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	１８名				事業所は安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思います。	今後も事業所運営においては、こどもの安全を確保するための計画について保護者に周知し、安全の確保が十分に行われた上で支援を実施していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	１７名			1名	今のところは大きな事故の発生はありませんが、小さなすり傷や打ち身や捻挫等でも発生した際には、事業所から速やかな連絡があり、傷や打ち身や捻挫等の状況について丁寧に説明してくれている。	これまでの事業所運営において、大きな事故の発生や怪我人の発生はございませんが、小さな怪我や「ヒアリハット」についても発生した場合に、保護者への速やかな連絡や丁寧な状況説明に今後も心がけていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	１８名				利用の初日から安心しきっていたように思います。 学校、家庭以外の安心感をもって過ごせ、通所できる場所になっている。	通所してくれるこどもさんが、みなさんいつも笑顔あふれて安心感をもって通所し続けてもらえるような事業所であるように今後も努力します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	１７名	１名			行きたくないと言ったことがないくらい楽しみにしています。家に帰って来てからとか、休みの日でも「はぐみ」と事業所の名前を言ったり、職員さんの名前を言ったりしている。	通所してきてくれているすべてのこどもさんが通所を楽しみしてくれる事業所になれるように努力を続けます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	１８名				こどもも楽しく通わせてもらっていますし、職員さんたちも親切に相談に乗ってくれているので、話しやすく満足しています。 親子で大満足です。	全利用児童のみなさん、その保護者のみなさんが支援に満足度を持ってもらえるような運営に努めてまいります。